



当院における来院理由となる症状の第2位となつた『**頸椎疾患**』についてお話ししたいと思います。

《頸椎疾患》

頸椎は、頭(スイカの重さ、4~6kg くらい)を支える一方、脊髄を保護しつつ、腕を上方へ引き上げるといふ多様な機能を担っています。そのため、頸椎疾患の症状は、多岐にわたり首・肩・上肢・下肢の痛みや痺れなど様々な症状を訴えます。

主な二大頸椎疾患として、『**頸椎症**』は、頸椎(椎間板や頸椎関節や靭帯)の変化による症状をいいます。頸椎の変化は、主に加齢や外傷が原因で起こります。症状は急激に現れることなく、頸部の痛みから始まり、徐々に上肢(痛みや脱力感・疲労感など)や下肢(歩行障害や便秘・排尿障害など)の症状が出てきます。『**頸肩腕症候群**』は、頸~肩~腕にかけての痛み・凝り・痺れ・筋力低下・循環障害などの症状を総称して呼び、頸椎や周辺組織の老化や長時間の作業による筋肉疲労や姿勢の悪さ、心因性ストレスなどが原因で起こります。いわゆる肩こりや首の凝りも含まれます。



《頸椎疾患の治療法》

① 薬物療法

症状に応じて、非ステロイド性抗炎症薬・中枢性筋弛緩薬・鎮痛薬・精神安定剤・ビタミン薬などの内服薬、貼り薬や塗り薬、漢方薬等を処方します。

② 理学療法

頸部の圧痛点・経穴にレーザー照射や SSP(針治療と同様効果)、キセノン光による温熱療法、高周波(頸部の筋肉収縮)など。

③ 徒手療法

頸部関節矯正の AKA 療法、生体の流れを正常にする遠絡療法などの東洋医学も取り入れ、様々な痛みに対応できるよう、新しい治療により、治療技術の幅を広げています。

④ 神経ブロック療法(当院で中心となる治療法)

★トリガーポイント注射

頸部の圧痛点(痛みの引き金の場所=トリガーポイント)が明確な場合は、この場所に局所麻酔薬を注射することにより、痛みの悪循環を改善します。

★星状神経節ブロック

神経根圧迫障害による症状に対しては、頸部にある星状神経節(頭・顔・首・腕・前胸部を支配する自律神経のかたまり)に局所麻酔薬を注射することにより痛みの悪循環を改善する。

★頸部硬膜外ブロック

上記注射で効果があまりみられない場合、硬膜外ブロック(硬膜外腔という脊髄神経の外にある空間に局所麻酔薬を注入する)を行い、痛みの悪循環を改善します。

⑤ 徒手療法

関節矯正の AKA 療法、生体の流れを正常にする遠絡療法、副交感神経を刺激する無血刺絡(シラク)等の東洋医学も効果的。

ご希望・お問い合わせの方は、医師・スタッフまでお申し付け下さい。 ~かわたペインクリニック~

痛み ペインクリニック
の診療所

なぜ痛いのかわからない、原因はわかっているが痛みで困っている。
そんな方は、痛みを治療する専門の診療所ペインクリニックへご相談ください。

かわたペインクリニック

ペインクリニック(痛みの治療)・内科・リハビリテーション科
〒631-0036 奈良市学園北1-9-1 パラディⅡ5F

TEL.0742-53-1155 FAX.0742-53-1001
<http://www.kawata-cl.jp>

